



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日 東

上場会社名 倉庫精練株式会社 上場取引所
 コード番号 3578 URL http://soko.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小川 直人
 問合せ先責任者 (役職名)取締役総務部長兼生産部長 (氏名)中前 和宏 (TEL) 076-249-3131
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	2,520	△1.9	△184	—	△358	—	△377	—
27年3月期第3四半期	2,570	△24.5	△424	—	△349	—	△549	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △333百万円(—%) 27年3月期第3四半期 △653百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△53.05	—
27年3月期第3四半期	△77.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	5,979	1,886	30.6
27年3月期	6,711	2,256	32.8

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 1,829百万円 27年3月期 2,201百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	3,410	2.0	△220	—	△400	—	△420	—	△58.98	

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年3月期3Q	7,140,078株	27年3月期	7,140,078株
② 期末自己株式数	19,077株	27年3月期	16,685株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	7,121,304株	27年3月期3Q	7,123,021株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策、金融緩和政策を背景に企業収益や雇用環境等の改善が続くなかで、景気は緩やかな回復傾向にあるものの、輸入原材料価格の高止まり、個人消費の伸び悩み、中国や新興国経済の成長減速等により、依然として先行きの不透明感が続いております。

当繊維業界におきましても、国内外の事業環境の変化、輸入原材料価格の高騰、企業間競争の激化により、依然として厳しい環境にあります。

このような状況のもと、当社グループは、工場集約の最適化を追求した生産効率、収益の改善、得意とする素材・加工の開発・販売、海外生産拠点の事業拡大・安定化を継続して強力に推進しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は25億20百万円(前年同四半期比1.9%減)、経常損失は3億58百万円(前年同四半期は3億49百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億77百万円(前年同四半期は5億49百万円の損失)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 繊維事業

衣料用途においては、得意とする複合、高次加工商品は堅調に推移しましたが、国内需要の変化、停滞等の中、総じて減少となりました。資材用途においては、車輛関連のほか、高機能繊維商品関連は堅調に推移しました。

以上の結果、繊維事業全体における売上高は21億77百万円(前年同四半期比1.9%減)、営業損失は2億20百万円(前年同四半期は4億17百万円の損失)となりました。

② その他

機械製造・修理事業、内装業においては、売上減少となりましたが、利益面は増加となりました。

以上の結果、その他における売上高は3億43百万円(前年同四半期比2.4%減)、営業利益は27百万円(前年同四半期比110.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億31百万円減少し、59億79百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少6億14百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ3億61百万円減少し、40億93百万円となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の増加5億76百万円、長期借入金の減少7億14百万円、未払法人税等の減少1億7百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億70百万円減少し、18億86百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失3億77百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年11月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した金額を計上しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは前連結会計年度において経常損失を計上し、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

しかしながら、連結財務諸表提出会社である当社は当該状況を解消すべく、国内工場統合による生産効率改善の推進、総経費の圧縮等の、経営諸施策を実施し、経営体質の改善を更に推し進めております。さらには、メキシコにおける生産子会社の事業拡大・安定化を強力に推進しております。

以上の対応策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,237,580	1,622,660
受取手形及び売掛金	784,268	969,657
商品及び製品	274,376	189,029
仕掛品	127,212	157,375
原材料及び貯蔵品	194,583	209,623
繰延税金資産	4,662	4,664
その他	372,923	376,817
貸倒引当金	△2,628	△3,103
流動資産合計	3,992,979	3,526,724
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,545,491	1,384,625
機械装置及び運搬具(純額)	673,055	572,632
その他(純額)	267,763	268,098
有形固定資産合計	2,486,311	2,225,356
無形固定資産	5,970	6,221
投資その他の資産		
投資有価証券	173,296	171,309
その他	55,404	53,236
貸倒引当金	△2,865	△2,865
投資その他の資産合計	225,835	221,681
固定資産合計	2,718,116	2,453,259
資産合計	6,711,095	5,979,983

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	576,476	586,861
1年内返済予定の長期借入金	191,116	767,146
未払法人税等	126,345	18,659
賞与引当金	41,339	13,656
その他	262,066	214,536
流動負債合計	1,197,345	1,600,858
固定負債		
長期借入金	2,530,746	1,816,049
役員退職慰労引当金	28,912	25,980
退職給付に係る負債	530,530	484,810
負ののれん	5,275	4,586
資産除去債務	92,917	93,869
その他	69,065	67,536
固定負債合計	3,257,446	2,492,833
負債合計	4,454,791	4,093,691
純資産の部		
株主資本		
資本金	506,000	506,000
資本剰余金	130,686	130,686
利益剰余金	1,603,928	1,190,505
自己株式	△2,546	△2,625
株主資本合計	2,238,068	1,824,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,868	21,397
為替換算調整勘定	59,694	68,528
退職給付に係る調整累計額	△118,225	△85,327
その他の包括利益累計額合計	△37,663	4,598
非支配株主持分	55,898	57,126
純資産合計	2,256,304	1,886,291
負債純資産合計	6,711,095	5,979,983

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	2,570,492	2,520,742
売上原価	2,518,618	2,267,256
売上総利益	51,874	253,485
販売費及び一般管理費	476,192	437,986
営業損失(△)	△424,317	△184,500
営業外収益		
受取利息	69	184
受取配当金	4,304	2,001
受取賃貸料	67,771	65,586
持分法による投資利益	405	-
為替差益	45,492	-
その他	15,104	11,028
営業外収益合計	133,148	78,800
営業外費用		
支払利息	32,368	28,930
賃貸費用	15,528	15,861
持分法による投資損失	-	2,483
為替差損	-	200,887
その他	10,305	4,941
営業外費用合計	58,202	253,104
経常損失(△)	△349,372	△358,804
特別利益		
固定資産売却益	29,517	-
投資有価証券売却益	72,460	-
特別利益合計	101,977	-
特別損失		
固定資産処分損	284,879	-
特別損失合計	284,879	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△532,274	△358,804
法人税等	15,853	17,217
四半期純損失(△)	△548,127	△376,022
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,455	1,773
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△549,583	△377,796

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純損失(△)	△548,127	△376,022
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43,343	552
退職給付に係る調整額	31,073	32,898
為替換算調整勘定	△92,953	8,833
その他の包括利益合計	△105,223	42,285
四半期包括利益	△653,351	△333,737
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△654,828	△335,534
非支配株主に係る四半期包括利益	1,476	1,797

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。